

今週（5月7日から5月9日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールON物は、週を通して0.475～0.478%程度での出合いが中心となった。O/N物の市場残高は、月末月初を要因に先週はオファーサイドの一部に運用額の増加が見られた事で、一時4兆円台半ばまで達したものの、今週は元の水準に戻った事から3.5兆円前後で安定して推移する展開となった。

ターム物は、ショートタームを中心に0.4%台後半から0.5%台で出合いが散見された。また、前週の金融政策決定会合の内容がハト派的に受け止められた事から、ロングターム物ではオファーサイドにレートを切り下げる動きも散見された。

日銀当座預金残高は、週初537兆円程度からスタートし、週後半に財政資金の揚げや10年債の発行を受けて、534兆円程度まで減少する見込みとなった。

●レボ市場

今週のGC T/N物は、0.465～0.505%で推移した。連休明けとなった7日(水)のT/Nは、突発的なビッドが見られたことで、レートはやや低下した。その後は横ばい圏での推移が続いたが、9日(金)は短国6M物と3M物の発行が重なることを要因に、レート水準が上昇する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y450～472回、5Y150～178回、10Y355～377回、20Y180～191回、30Y65～86回、40Y13～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが概ね横ばい圏で推移した。

8日(木)に実施された6M物入札は、強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、堅調に推移した。9日(金)に実施された3M物入札もしっかりとした結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも、強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP 市場は、大型連休の影響により入札案件が少なかったものの、医薬品、食料品、卸売業などの業態で発行がみられた。

市場残高は、週を通して23兆円台で推移しており、先週末の水準から概ね横這い圏での推移となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/5 (月)						
5/6 (火)						
5/7 (水)	36,779.66	1.295	143.00	0.477	0.480	5,379,500
5/8 (木)	36,928.63	1.320	144.00	0.476	0.474	5,369,000
5/9 (金)	37,503.33	1.350	145.80	0.477	0.490	5,341,900

来週（5月12日から5月16日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
5/12 (月)	3月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 4月の景気ウォッチャー調査(内閣府14:00)				4月の米財政収支
5/13 (火)	決定会合における主な意見(4月30日・5月1日分 8:50) 4月のマネーストック(日銀 8:50)		30Y 5/14発行 8,000億円	交付税借入 5/22借入 11,000億円	4月の米消費者物価指数
5/14 (水)	4月の企業物価指数(日銀 8:50)				
5/15 (木)			5Y 5/16発行 24,000億円	国有林野借入 5/26借入 419億円	4月の米小売売上高 4月の米生産者物価指数 4月の米鉱工業生産・設備稼働率 3月の米企業在庫 1-3月期のユーロ圏GDP2次速報 1-3月期の英GDP速報値
5/16 (金)	中村審議委員 西日本政経懇話会における講演 1-3月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	TDB3M 5/19発行 45,000億円			4月の米住宅着工件数 5月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
5/12 (月) 日銀予想	1,200	▲ 6,600	▲ 5,400	CP買入 被災地支援 国債補充	▲ 100 ▲ 200 4,000		3,700	▲ 1,700	TB3M発行▲45,000償還45,000 TB6M発行▲35,000償還35,000
5/13 (火) 弊社予想	1,500	▲ 2,000	▲ 500				0	▲ 500	
5/14 (水) 弊社予想	1,500	▲ 11,000	▲ 9,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 17,500	源泉所得税揚げ 30Y発行▲8,000
5/15 (木) 弊社予想	1,000	▲ 2,000	▲ 1,000				0	▲ 1,000	個人向け発行▲3,000（見込）償還840 交付税借入▲11,000償還13,000
5/16 (金) 弊社予想	1,000	▲ 24,000	▲ 23,000				0	▲ 23,000	5Y発行▲24,000
週 間 合 計	6,200	▲ 45,600	▲ 39,400	—	▲ 4,300	0	▲ 4,300	▲ 43,700	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、今週と同水準となる0.475～0.478%近辺での推移が予想される。ターム物については、期間にもよるが0.4%台後半から0.60%近辺での出合いが予想される。債券レボGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.45～0.50%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、16日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、13日(火)に五・十日発行が予定されており、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では12日(月)に3月の国際収支、4月の景気ウォッチャー調査、13日(火)に決定会合における主な意見(4月30日・5月1日分)、14日(水)に4月の企業物価指数、16日(金)に中村審議委員 西日本政経懇話会における講演、1-3月期のGDP 1次速報、海外では12日(月)に4月の米財政収支、13日(火)に4月の米消費者物価指数、15日(木)に4月の米小売売上高、1-3月期のユーロ圏GDP2次速報、1-3月期の英GDP速報値、16日(金)に4月の米住宅着工件数などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を負担頂く必要があります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。